

連携医療機関向け広報誌

# COMPASS

NAGOYA EKISAIKAI HOSPITAL

vol.01

2020 December

脊椎脊髄センター開設

脳神経外科医  
が診る  
脊椎脊髄疾患

## 脊椎脊髄センターの概要と 設立の経緯

脊椎脊髄疾患は、骨だけでなく神経も複雑に絡み、痛み、しびれなど様々な症状を呈するため、症状にお困りになった患者さんがどの科を受診するのが良いのか迷われたり、受診しても診断が遅れるケースが少なくありません。このような状況を改善し、患者さんに適切な治療を受けていただくため、2020年、名古屋掖済会病院では脊椎脊髄センターの開設に踏み切りました。

当センターでは連日、高度に専門化した脳神経外科医が、脊椎脊髄疾患による様々な症状を患っておられる方々を総合的に診断し治療しています。現在、専属のスタッフは5名ですが、全て頭蓋内の一般の脳神経外科に関する知識や手術を十分に修練した脳神経外科医です。そして、木曜日には紹介症例専用の外来も設け、地域との連携を図っています。

扱う疾患も頸椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症などの変性疾患に加え、救命救急センターに搬送されてこられる重度の脊椎外傷、高齢な方の脊椎圧迫骨折など多岐にわたります。手術だけでなく保存的治療についても重要視しており、まずは薬物療法や神経ブロックなどの治療にて、なるべく手術を避けて症状を改善させることを目指します。もはや国民病でもある腰痛症に悩んでおられる方は非常に多く、その対策は重要と考えます。

ご紹介いただきました脊椎脊髄疾患の症状に悩んでおられる患者様に対し、最適な治療を提供できるよう心がけています。

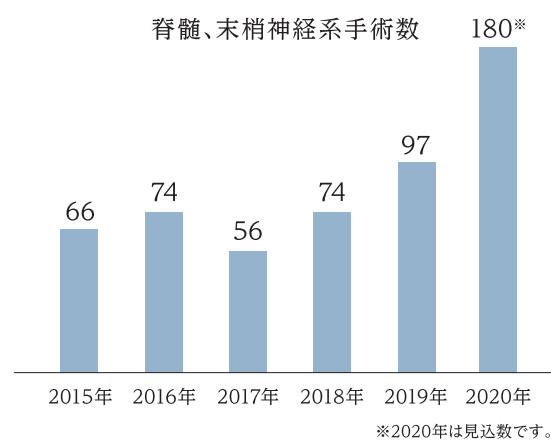
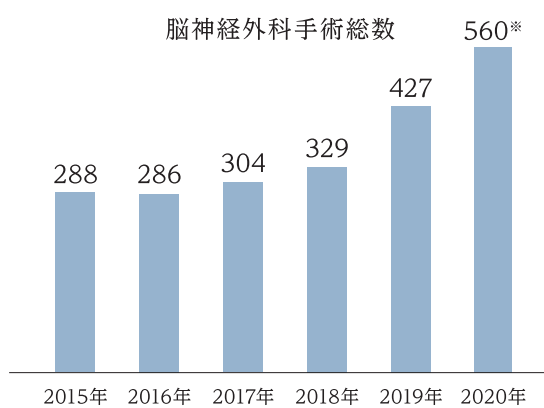
### 脳神経外科医による「脊髄外科」とは

欧米では、脊椎脊髄疾患の7割以上が“Neurosurgeon”（神経外科医）によって治療されています。“Neurosurgeon”とは神経全般を扱う外科医です。日本では「脳外科医」という呼称になってしまった歴史があり、脳以外は扱っていないと考えられてしまうことがありますが、日本脳神経外科学会には高度に細分化された分野として「脊髄外科学分野」があります。近年、本邦でも脳神経外科医が携わる脊椎脊髄手術は飛躍的に増えており、高度で安全な医療を国民の皆様にご提供できる環境が整いつつあります。



# 低侵襲で負担の少ない、患者さん個々の状態に応じた治療法の選択

脳神経外科医が脊椎脊髄疾患を扱うことの利点は、脳を含め神経症状を一括して診ることができ、そして顕微鏡手術に長けていることです。顕微鏡を使用することにより、脊髄・神経を愛護的に扱い、低侵襲で安全かつ確実な神経減圧を行うことが可能になっています。特に近年、高齢の患者さんが急激に増えています。若い患者さんについてはガイドラインに準じた治療法の選択にて良好な治療を提供することが可能ですが、高齢の患者さんに対しては、画一的な治療ではなく患者さんに応じたテーラーメイドな治療が必要になります。後述する骨粗鬆症治療に取り組んでいるだけでなく、脳神経外科専門医による顕微鏡を駆使したなるべく低侵襲な手術手技を心がけています。



## 腰椎すべり症、側弯症などに対する腰椎固定術

当センターではなるべく低侵襲で負担のない手術方法を選択していますが、腰椎すべり症や側弯症などについては固定手術が第一選択となることがあります。一般的には除圧手術に比して患者さんの負担が大きくなり、術後にコルセットによる外固定やリハビリテーションが必要になります。高度な技術を求められますが、最先端のデバイスを用いた安全で負担の少ない術式を選択するよう心がけています。

## 骨粗鬆性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術とは

圧迫骨折した脊椎椎体に針を刺し、針からバルーンが先端についた器具を挿入します。バルーンを膨らませて潰れた椎体を少しでも回復させ、骨セメントを注入して椎体を固めることで、速やかに痛みを緩和することができます。この治療法は針で穿刺するのみで患者さんの負担は軽く、所要時間は30分程度で、翌日から歩行が可能となります。我が国では平成23年1月より保険適応となっています。全体として痛みの60-70%程度は軽減するといわれており、痛み止めの必要がなくなる、あるいは減らすことができるなどの効果が期待できます。通常1週間程度の入院をして頂いています。

## 腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など

腰痛・下肢痛が主な症状です。椎間板ヘルニアの保存的療法としては、安静・腰椎コルセットの装着・腰椎牽引や腰部マッサージなどが行われます。脊柱管狭窄症は、歩行や直立の姿勢の保持にて出現し、座って休むと下肢症状が軽減するいわゆる「間欠性跛行」が特徴です。各種の保存的療法を2~3ヶ月行っても効果のない場合、痛みが激しい場合、下肢の運動麻痺が著明な場合などには手術を行っています。

## 頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症など

頸部痛だけでなく、一側の肩や手の特定の領域に激しい痛みや放散痛が生じたり、両手の巧緻運動障害などが出現し、急速に進行することもあります。痛みのみの場合は、保存的療法や安静により軽快することが大部分です。保存的療法を行っても症状が進行する場合には手術が必要となります。手術法としては、頸椎前方到達法と後方到達法があります。目的は、症状の進行をくい止めることと、現在の症状を少しでも改善させることとなります。



# 医療機関の連携による テーラーメイドの治療を

患者さんの“満足”をめざして

脊椎脊髄の疾患には、様々な症状があり、どの診療科にかかったらいいのか迷われる患者さんが多いことは、きめ細かな診察・治療に当らされている開業医の先生方も日々実感しておられることと思います。

名古屋掖済会病院の脊椎脊髄センターでは、開業医の先生方との連携のもとでそうした患者さんの迷いを払拭し、患者さんご自身が心から満足される医療

の提供を目指していきたいと考えております。

また、社会の高齢化が進む中で、胸や椎間板の変形に伴う脊椎疾患も増えつつあります。こうした時流に立ち向かうには、身近なかかりつけ医の先生方と、MRIなどを備えた病院の連携は不可欠なものとなっていくものと思われます。特に、脊椎・脊髄に関わる医療分野は、診断方法や治療方針が多岐にわたるゆえに、医療機関の緊密な連携への要請は重要視されています。

当センターでは5名の常勤医師が中心となり、診察・治療・手術に当たっています。いずれの医師も脳神経外科の専門医です。私たちは脳外科学会、脊椎外科学会と情報交換するなかで、常に最新の医療知識・情報を得よう心がけています。

それらの知識・情報を共有したうえで、患者さんの生活習慣やお人柄にも精通した開業医の先生方との緊密なコミュニケーションをとりながらの治療を実現できれば、患者さんはもとより、地域社会の健康増進にもつながるものと考えています。

近年、注目されている骨粗鬆症の原因とする圧迫骨折の予防などについても、かかりつけ医の先生方との連携により、これまで以上に多層的な予防の取り組みができるようになります。

脊椎・脊髄分野の疾患は、直接命にかかわらないからこそ、結果の良し悪しは患者さんの満足度にかかっています。たとえ手術が成功したとしても、患者さんが満足していなければ意味がない、と言ってもいいでしょう。そして、患者さんの満足度を高めるテーラーメイドの治療は、地域のかかりつけ医と名古屋掖済会病院が力を合わせ、知恵を出し合うことで、はじめて実現します。

私たちの目標は、地域に暮らす方々が安心して暮らせる医療環境の充実です。その目標に向かって邁進してまいります。



医員 中島 拓真  
医長 福岡 俊樹  
部長 鈴木 幸  
医長 粟屋 堯之  
医員 松尾 衛

日本脳神経外科学会専門医  
日本脊髄外科学会認定医  
脊椎脊髄外科専門医

日本脳神経外科学会専門医  
日本脳神経血管内治療専門医・指導医  
日本脳卒中学会専門医  
臨床研修指導医

日本脳神経外科学会専門医  
日本脊髄外科学会認定医  
脊椎脊髄外科専門医

医務嘱託 宮崎 素子 日本脳神経外科学会専門医 臨床研修指導医  
医務嘱託 木村 雅昭 日本脳神経外科学会専門医 臨床研修指導医  
医務嘱託 服部新之助 日本脳神経外科学会専門医 日本脊髄外科学会認定医 臨床研修指導医



■ 外来医師担当表

	月	火	水	木	金
午前	栗屋 脊椎脊髄 外来	鈴木(幸)	福岡 脊椎脊髄 外来	木村	宮崎
	代務	服部	—	中島	松尾 脊椎脊髄 外来
午後				脊椎脊髄 外来 (紹介のみ)	

■ 名 称 名古屋掖済会病院

■ 管理者 院長 河野 弘

■ 診療科 (全36科)

内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、  
脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、  
小児科、精神科、外科、消化器外科、肛門外科、  
乳腺外科、呼吸器外科、整形外科・手外科、リウマチ科、  
形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、  
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ  
テーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、  
歯科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、腫瘍内科、  
健康管理科、産業保健科

■ 病床数 602床



〒454-8502 名古屋市中川区松年町4-66

代表 TEL(052)652-7711 FAX(052)652-7783

医療連携 TEL(052)652-7954 FAX(052)652-4774

<http://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp>



WEB